



広島ガス株式会社 第159期中間報告書

平成24年4月1日 ▶ 平成24年9月30日



■ 株主の皆さまへ

平素は、当社グループの事業運営につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当第2四半期における日本経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、長期化する円高や原油価格の高騰に加え、欧州債務危機の深刻化による海外経済の減速が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

エネルギー業界におきましては、東日本大震災を契機にエネルギー政策の見直しが議論され、環境性・供給安定性に優れた天然ガスや、太陽光等の再生可能エネルギーに一層の関心が高まるなど、エネルギーを巡る情勢は大きな転換期を迎えております。

このような情勢のもと、当社グループは、株主さま・お客さま・地域社会の皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループを目指し、懸命な努力を重ねてまいりました。

ここに、当第2四半期の経営概況につきましてご報告申し上げます。

平成24年11月

代表取締役 社長執行役員

田 村 興 浩

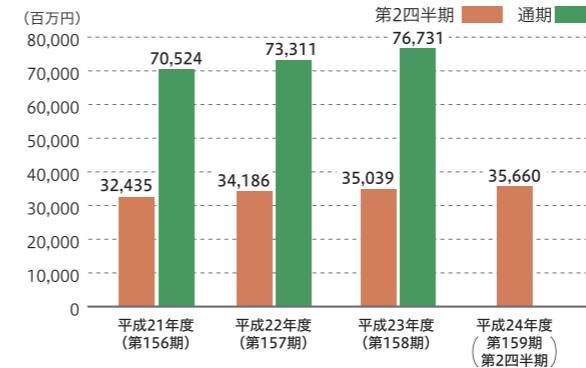
目次

- ごあいさつ 1
- 第159期第2四半期の営業概況... 2
- 経営の考え方と取り組み 3
- TOPICS..... 5
- 四半期連結財務諸表 7
- お知らせ 9
- 会社の概況 10

第159期第2四半期の営業概況

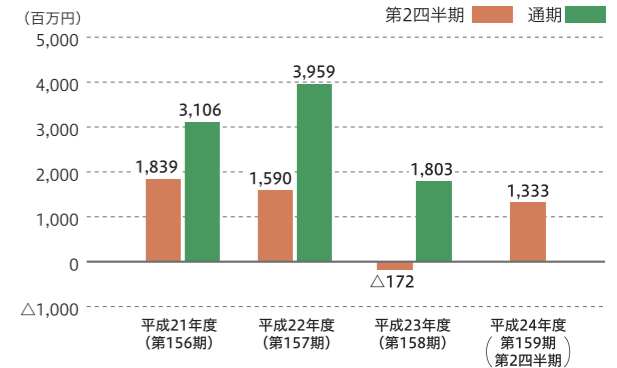
営業実績

前年同期比 **1.8%** 増加
連結総売上高 35,660 百万円



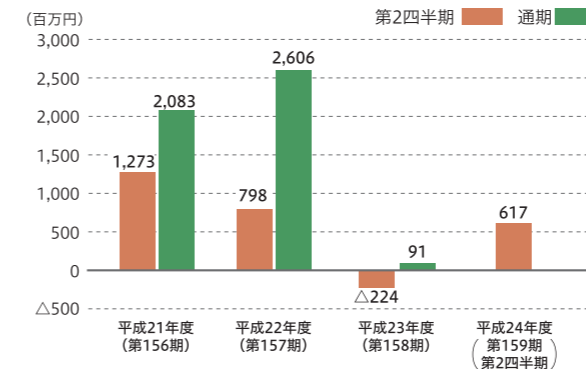
ガス事業における原料費調整制度に基づく販売単価の上昇等により、前年同期と比べ1.8%増加しました。

連結経常利益 1,333 百万円



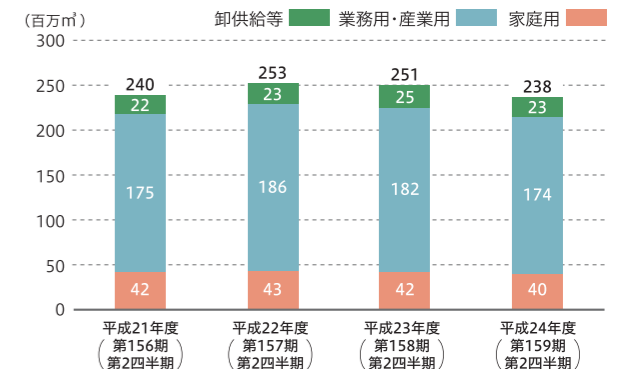
ガス事業での売上高の増加による連結総売上高の増加や減価償却費の減少等により、第2四半期では3期ぶりの増益となりました。

連結四半期純利益 617 百万円



連結経常利益と同様に、第2四半期では3期ぶりの増益となりました。

都市ガス販売量



※過去のガス販売量を、45MJ/m³に換算しております。

気温および水温が高めに推移したことによる家庭用のお客さまへの販売量の減少や大口用を中心とした業務用のお客さまへの販売量の減少等により、前年同期と比べ4.9%減少しました。

経営の考え方と取り組み

▶ 低炭素社会への貢献

エネルギーの分散化を含めたエネルギーミックスのあり方について議論がなされる中、環境性・供給安定性に優れたガス体エネルギーの位置付けはより一層高まっております。

当社グループは、ガス体エネルギーの普及拡大に向けて、家庭用燃料電池「エネファーム」等のガスコージェネレーションシステムや高効率給湯器「エコジョーズ」等の高効率ガス機器の普及を促進しており、本年4月から9月末までの「エネファーム」の販売台数は前年同期と比べ約2倍に増加いたしました。

また、太陽光発電と「エネファーム」等とを組み合わせた「ダブル発電システム」等の営業活動を積極的に展開しております。

ダブル発電普及促進
エコキャンペーン
「プラチナポイント」



▶ お客さま満足度の向上

当社グループは、多様化かつ高度化するお客さまのニーズに対応するため、ガスショップとLPGガス販売店を中心に地域密着型サービスを展開するなど、お客さまとの接点の強化を推進しております。

本年8月には修理品質のさらなる向上および修理業務の活性化を目的として、ガス機器修理技能競技会(メンテ甲子園)を開催するなど、お客さま満足度の向上に努めております。今後とも、お客さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループであるため、お客さま目線でのサービスのあり方を追求してまいります。



ガス機器修理
技能競技会
(メンテ甲子園)

内管・本支管
技能コンクール

▶ 健全で強靱な企業体質の構築

当社グループは、グループ機能の再構築と業務の見直しにより、機能の最適化と収益性の最大化を図っております。その一環として、本年7月には、お客さまサービスの向上を図ることを目的とし、工事から保安まで一貫した体制を構築するため、設備工事会社である広島ガステクノ(株)と保安業務会社である広島ガスサービス(株)を合併により統合いたしました。

また、本年5月には、資器材のより迅速かつ効率的な配送を実現するため、県内5カ所に分散していた物流拠点の大部分を集約し、当社海田基地内に「広島ガ



広島ガス資材センター

ス資材センター」を新たに開設いたしました。東日本大震災の経験を踏まえ、一部資器材の備蓄量を増加するなど、緊急時や災害時においてもさらなる安全・迅速な対応を目指してまいります。

▶ 公正かつ透明で風通しの良い組織への変革

当社グループは、コンプライアンス(法令遵守、企業倫理の徹底)に則った公正で透明性のある事業活動を推進するため、本年8月から9月にかけて「広島ガスグループ企業倫理月間」を設け、当社グループ全従業員



小学校における食育に関する出前授業の様子

の企業倫理・コンプライアンス意識の効果的な向上を図ることを目

的として、啓蒙ポスターの掲示、講演会の開催等、期間中に様々な活動を実施いたしました。

また、地域のエネルギー事業者として、バドミントン部による小学校等でのバドミントン教室の開催、出前授業形式でのエネルギー教育や食育等の次世代教育など、地域活性化・発展のための活動を推進するとともに、環境教育支援などの環境啓発活動等にも積極的に取り組んでおります。

▶ グループの成長を担う人材の育成

企業が継続的に発展・成長するためには、人材育成および組織の活性化が重要であると考えております。専門知識、技能、マネジメント能力等の向上のみならず、高いコンプライアンス意識やコミュニケーション能力を兼ね備えた、バランスの取れた人材を育成する

ため、技能講習や管理者研修に加え、定期的にコンプライアンス研修や人権啓発研修等を実施しております。



広島ガスグループ
企業倫理月間ポスター

TOPICS



地域社会とのかかわり

当社は、地域に根ざした企業として、地域社会と連携し、地域の発展に貢献するための様々な活動に取り組んでいます。

理科実験授業

広島県内の中学校・高校等を訪問し、天然ガスや燃料電池など当社の事業とかわりのある内容について、実験を交えながら授業を実施しています。



サンフレッチェ広島 スポンサーゲーム

地元プロサッカーチームであるサンフレッチェ広島をサポートし、地域の活力アップにつながるようこの願いを込め、「広島ガススポンサーゲーム」を開催しています。



ひろしま フラワーフェスティバル

毎年5月3日～5日に開催されるひろしまフラワーフェスティバルに参加しています。

また、環境保全の観点から、JT(日本たばこ産業株)が主催する清掃活動に参加し、きれいな街づくりに貢献しています。



広島ガスバドミントン部

当社女子バドミントン実業団チームは、現在、日本リーグ2部に所属しています。学校やイベント等でバドミントン教室を開催するなど、地域のスポーツ振興に取り組んでいます。



広島東洋カープ 4社合同応援

広島の活性化を目指し、当社・中国電力(株)・(株)広島銀行・(株)中電工の合計4社の役職員とその家族で、広島東洋カープの合同応援を行っています。



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

平成24年9月30日現在

資産の部	
固定資産	64,551
有形固定資産	54,886
製造設備	17,055
供給設備	26,224
業務設備	3,810
その他の設備	6,416
建設仮勘定	1,378
無形固定資産	77
投資その他の資産	9,588
投資有価証券	6,499
その他投資	3,977
貸倒引当金	△ 888
流動資産	20,826
現金及び預金	7,771
受取手形及び売掛金	6,263
商品及び製品	737
原材料及び貯蔵品	4,458
その他流動資産	1,873
貸倒引当金	△ 276
資産合計	85,378

(単位:百万円)

負債の部	
固定負債	31,222
社債	16,000
長期借入金	11,795
退職給付引当金	2,371
役員退職慰労引当金	327
ガスホルダー修繕引当金	410
資産除去債務	100
その他固定負債	215
流動負債	22,322
1年以内に期限到来の固定負債	6,537
支払手形及び買掛金	5,337
短期借入金	1,000
未払法人税等	696
コマーシャル・ペーパー	2,000
その他流動負債	6,751
負債合計	53,545
純資産の部	
株主資本	29,592
資本金	3,291
資本剰余金	940
利益剰余金	26,224
自己株式	△ 864
その他の包括利益累計額	639
その他有価証券評価差額金	614
繰延ヘッジ損益	24
少数株主持分	1,601
純資産合計	31,833
負債純資産合計	85,378

四半期連結損益計算書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	35,660
売上原価	23,568
(売上総利益)	(12,092)
供給販売費及び一般管理費	10,985
(営業利益)	(1,107)
営業外収益	560
受取利息	1
受取配当金	55
持分法による投資利益	157
雑収入	346
営業外費用	334
支払利息	285
雑支出	48
(経常利益)	(1,333)
特別損失	44
投資有価証券評価損	44
(税金等調整前四半期純利益)	(1,288)
法人税、住民税及び事業税	429
法人税等調整額	141
少数株主損益調整前四半期純利益	718
少数株主利益	100
四半期純利益	617

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

(単位:百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	6,667
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,629
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,488
現金及び現金同等物の増減額	549
現金及び現金同等物の期首残高	6,250
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,800

【ご参考】

単体営業成績の概要

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで (単位:百万円)

売上高	27,998
営業利益	477
経常利益	824
四半期純利益	466

お知らせ

■ 単元株式数を変更(引き下げ)いたしました。

当社は、投資家の皆さまにより投資しやすい環境を整えることで、当社株式の流動性の向上および投資家層のさらなる拡大を図るため、平成24年7月2日をもって、単元株式数を1,000株から100株に引き下げました。

*平成24年7月2日をもって、東京証券取引所における売買単位も1,000株から100株に変更となりました。

また、100株につき1個の議決権が付与されるようになりました。

*単元未満株式の買取および買増制度のご利用に際しましては、100株に満たない株式が対象となります。

*この変更に関しまして、株主の皆さまにおけるお手続きは必要ございません。

■ 当社ホームページ内「広島ガスIR情報」ページをリニューアルしました。



当社は、本年11月、当社ホームページ内の「広島ガスIR情報」ページを全面的にリニューアルいたしました。

今回のリニューアルでは、利用者の皆さまが目的の情報に容易にアクセスできるようサイトの構造を整理するとともに、当社のIR情報について、ご理解を一層深めていただけるように掲載情報の拡充を行いました。

今後も、株主ならびに投資家の皆さまに決算情報などの各種IR情報をタイムリーに提供してまいります。

こちらへアクセス <http://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/>

■ 株主優待制度の導入を決定いたしました。

当社は、株主さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、今後ともより多くの株主の皆さまに、当社事業へのご理解とご支援をいただき、当社株式を長期に保有していただける魅力のあるものとするを目的に、株主優待制度を導入することといたしました。

対象 毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された500株(5単元)以上の株式を保有されている株主さま

内容	保有株数	株主優待品
	500株以上2,000株未満	図書カード(1,000円相当)
2,000株以上	商品カタログ(5,000円相当の広島県特産品等)	

送付時期 毎年1回、定時株主総会終了後の6月下旬頃

実施開始時期 平成25年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された500株(5単元)以上の株式を保有されている株主さまを対象として実施いたします。

会社の概況

株式の状況 (平成24年9月30日現在)

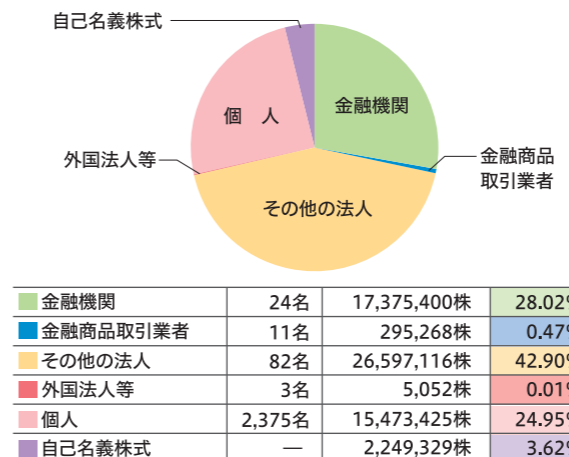
●発行可能株式総数	240,000,000株
●発行済株式の総数	61,995,590株
●株主数	2,496名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
岩谷産業株式会社	7,607	12.73
明治安田生命保険相互会社	3,855	6.45
三菱商事株式会社	2,991	5.00
日本生命保険相互会社	2,970	4.97
株式会社広島銀行	2,840	4.75
広島電鉄株式会社	1,860	3.11
米田 正幸	1,852	3.09
第一生命保険株式会社	1,780	2.97
広島ガス自社株投資会	1,485	2.48
西部瓦斯株式会社	1,420	2.37

※出資比率は自己株式(2,249,329株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



会社概要 (平成24年9月30日現在)

本社所在地 | 広島市南区皆実町二丁目7番1号

設立 | 明治42年10月30日

資本金 | 3,291,995,816円

従業員数 | 678名

主要な事業内容 | (1)ガス事業
(2)ガス器具の販売
(3)液化天然ガスの販売

役員 (平成24年9月30日現在)

代表取締役会長	深山 英樹
代表取締役社長執行役員	田村 興造
取締役常務執行役員	佐伯 正夫
取締役常務執行役員	中村 治
取締役執行役員	堂本 慎一
取締役執行役員	和田 博喜
取締役執行役員	山本 宏之
取締役	角 廣 勲
取締役	出田 善藏
取締役	熊谷 鋭
取締役	越智 秀信
常勤監査役	桂 秀昭
常勤監査役	伊藤 博之
監査役	武井 康年
監査役	小川 弘毅
執行役員	藤森 敏彦
執行役員	坂 茂雄
執行役員	松藤 研介
執行役員	藤原 泰藏
執行役員	垣井 和行
執行役員	宇野 誠
執行役員	谷村 武志
執行役員	久保 賢司

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日
上記のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定める日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 同上
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪府大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
- 公告方法 日本経済新聞、中国新聞に掲載する
- 単元株式数 100株
- 銘柄コード 9535

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

